

○17番 城戸琉夏君

中京中学校3年、城戸琉夏です。私は、食料自給率について質問します。

私は、最近の授業で、日本の食料自給率が年々減っていることを学びました。気になってさらに調べてみると、福岡県の食料自給率は、全国の食料自給率の半分程度しかないことも分かりました。そこで、私たちが普段食べている給食などの行橋市の食料自給率はどのくらいなのだろうと、興味を持ちました。

まず、行橋市の食料自給率について、執行部はどのようにお考えでしょうか。

○後半議長 渡部稜君

執行部に答弁を求めます。

市長。

○市長 工藤政宏君

城戸議員のご質問にお答えします。まず食料自給率、これはカロリーベースで、今回ご質問をいただきましたので、行橋市として試算をしてみました。1人1日当たりの行橋市産供給熱量は641キロカロリーということで、全国の国産供給熱量は841キロカロリーということなので、全国平均よりも200キロカロリーほど下回っているということでございます。

そして、輸入品も含めた食品から日本国民に供給されているカロリーをあらわす、1人1日あたり総供給熱量は、2,203キロカロリーとのことですので、行橋市産供給熱量を日本全体の国民の総供給熱量で割ると、カロリーベースの食料自給率が算出できます。そうしましたところ、29パーセントということでございます。国の自給率は38パーセントなので、9パーセントほど下回っているということになります。

それからちょっと補足の説明にはなるのですが、お米につきまして、1年間、国内で消費された量をあらわす国内消費使用量から算出した、行橋市の収穫量を比較すると、収穫量が消費量を超えておりまして、つまり十分に生産できている、お米自体は収穫量が消費量を超えているということですので、お米は、一応生産は計算上は足りているということでございます。行橋市民の、お米の年間の消費量が4,097トン、これに対して収穫量は5,400トンということです。実際は出ていくお米もありますので、この計算どおりとはいかないのですが、また牛・豚・鶏といった畜産業については、乳用牛の飼育、そしてごく小規模な鶏卵の生産が行われておりまして、肉用の生産はございませんので、お肉は自給できておりませんし、魚介類も十分な漁獲量があるとは言えないという状況でありますので、地産地消とは言えない状況でございます。

ちょっと補足説明がありましたが、以上です。

○後半議長 渡部稜君

城戸議員。

○17番 城戸琉夏君

ありがとうございます。行橋市の食料自給率については、分かりました。
では、私たちに身近な給食などにもかかわることですので、行橋市の食料自給率を上げていくために、現在どのような取り組みが行われているのか、教えてください。

○後半議長 渡部稜君

執行部に答弁を求めます。

市長。

○市長 工藤政宏君

すみません、ちょっと祇園祭に行って戻って来たものですから、汗が出ていてすみません。

まず、この食料自給率に関してですけれども、日本も世界各国と比べると、そもそも低いんですよね。カナダだと直近で言うと204パーセント、オーストラリアだと233パーセント、アメリカは101パーセントということです。日本は61パーセントくらいですかね、非常にそもそも低い。これは、そもそも平野が狭いとか、国土の問題といったものがあります。それから国土が狭い割に人が多いとか、いろいろな諸問題といったものがあるかと思います。

いま現在、行橋市としましては、やはり担い手育成ということで、農家の方々は、どうしても高齢者の方が多いのですが、若い方たちが、例えば農業を始めるといときに、国や県もそうなんですが、補助金などを出して支援をする、そういったこともさせていただいております。

また、いろいろと経営面での課題もあると考えております。これは農業だけではなくて漁業もそうですが、例えば機械を購入したり機械を動かすのに燃料が必要ですので、そういった様々な課題がありますので、いま現在、担い手育成といったところ、それから様々な補助金等がございます。

また、後は害獣被害といったものもございます。動物が田んぼや畑に入ってきて農作物を荒らしてしまうとか、そういったところで、それを防ぐための防護柵といったものに補助金を出したりしております。

様々なかたちで、まず農業を守るといったことはやっておりますけれども、食料自給率を行橋市として上げていくとなると、なかなか市単独でというのは、なかなか難しいというふうに考えておりますので、これは大きく国の政策にも関わってきますので、農水省にも、それこそ要望活動などもしておりますが、国にも働きかけ、そして県とも協働しながら、引き続き一自治体に他に何ができるのかといったところを模索していきたいと思っております。以上です。

○後半議長 渡部稜君

城戸議員。

○17番 城戸琉夏君

ありがとうございます。私も今後、自分のできる範囲で食料自給率を上げるように努力していこうと思います。

以上で質問を終わります。ありがとうございました。